

【人生逆転】40代50代からでも絶対に取りべき オススメ資格5選!

◇動画の全体像
冒頭(ニード喚起)
導入(マインド)
本題

- ①40代の悩みについて
- ②資格を取るメリット
- ③資格の紹介5選
社会保険労務士
宅地建物取引士
中小企業診断士
電気工事士
介護福祉士
- ④宮野さんは副業で得たスキルでうまくいっているので副業もおすすめ

締め
まとめ
資格を取るのも重要だが副業もおすすめ
他の動画でSNS運用が40代におすすめと流しているのでそちらをみてもらう
→スクール訴求
チャンネル登録訴求

動画のターゲット

・老後が心配で40代のうちにスキルをつけて安心したい人

この動画で伝えるべきこと

・老後が心配で変化が多い40代の人に、今後も安定して稼ぎ続けるためのおすすめ資格を紹介し、将来のために何かしらの行動を起こす一歩を踏み出してもらうための、将来に役立つスキルを伝える。

【台本】

タイトル

【人生逆転】40代50代からでも絶対に取りべきオススメ資格5選！

本文

■冒頭

こんにちはこんばんは！どうもミヤテツこと宮野です！

僕は都内でカラオケバーを経営しながら、副業で7社のSNS運用代行をしています！

副業での月収は150万円を超え、本業・副業・遊びの3本柱を構築。

大切な仲間たちに囲まれて大人の青春を謳歌しています。

現在は40代50代で副業を始める方を応援したいと思い、発信を続けています！

さて、今回は「【人生逆転】40代50代からでも絶対に取りべきオススメ資格5選！」というテーマで解説していきます。

40代・50代の方で

「老後のために、今から新たなスキルを身につけたい・・・」

「安定して稼げる資格を知りたい・・・」

「未経験でも取れる資格なんてあるの？」

今回のテーマを聞いて、そんな風に思った方は多いんじゃないでしょうか？

僕も最初はそうでした。40代で何のスキルも持っていない自分に取りれる資格なんてあるの？と感じてしまいますよね。

ですが、40代・50代だからといって、新たな挑戦に尻込みする必要はありません。

むしろ今だからこそ取得して、老後まで食べていける資格があるんです！

実際に僕の周りでも、50代から資格を取って、その資格をもとに60代・70代でも現役バリバリで働いている人が何人もいます。

しかし、どんな資格でも取れば安泰というわけではありません。

「時間とお金をかけて取ったのに、全然仕事に繋がらない・・・」

そんなお金と時間をドブに捨てるような資格もたくさんあります。

そこで今回は、

- 40代の悩みについて
- 資格を取るメリット
- 40代・50代におすすめの資格5選
- 僕が特にオススメする、老後に理想の生活をするための方法

を詳しく解説していきます！

特に最後にお伝えする内容は、僕の知識と経験から超厳選した、昭和時代を生きた皆さんにこそオススメできるものになっています。

この動画を最後まで見て、理想の老後生活を実現しましょう！

■ 導入(マインド)

このチャンネルでは、副業で稼ぎたいあなた、

同年代の仲間と共にお金も日々の充実感も両方手に入れたいあなたに対して

副業、SNS運用など将来の役に立つ情報を発信していきます！

興味のある方はぜひ、画面左下にあるボタンを押してチャンネル登録をよろしくお願いします！

それでは本題にいきましょう！

本題

①40代の悩みについて

40代を迎えると、仕事やプライベートなど、様々な悩みを抱えるようになりますよね。

特に定年後の生活について不安を感じる人が多いのではないのでしょうか。

厚生労働省の調査によると、2022年時点の、夫婦2人暮らしの場合の平均年金受給額は

- とともに自営業の場合：約13万円
- とともに会社員の場合：約34万円

となっています。



年金の種類	年間の受給金額	毎月の受給金額
夫婦ともに自営業の場合 (国民年金 + 国民年金)	159万円	約13万2,500円
夫婦ともに会社員の場合 (厚生年金 + 厚生年金)	約408万円	約34万円
夫会社員 妻専業主婦の場合 (厚生年金 + 国民年金)	約297万円	約24万7,500円
単身会社員の場合 (厚生年金)	約217万円	約18万1,000円

※厚生年金の金額については夫の年収約689万円（単身会社員も同様）、妻の年収約559万円を想定
※厚生年金は国民年金を含む



(参考：<https://www.asahi.com/reife/article/15091000>)

(出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/001027360.pdf>)

一方、夫婦2人暮らしに必要な生活費の最低ラインは約23万円、ゆとりある生活をするためには約38万円が必要と言われています。



平均的な老後の生活費	2人暮らし：26万8,508円 1人暮らし：15万5,495円
必要最低限の老後の生活費	平均23.2万円
ゆとりのある老後の生活費	平均37.9万円

参照：家計調査年報（家計収支編）2022年（令和4年）結果の概要 | 厚生労働省 2022（令和4）年度生活保障に関する調査 | 生命保険文化センター



(参考：<https://www.asahi.com/reife/article/1517308>)

(参照：<https://www.stat.go.jp/data/kakei/2022np/pdf/summary.pdf>)

つまり、年金だけでゆとりある生活をしようとすると、毎月**4～25万円**の赤字が出てしまう計算になります。

「じゃあ定年後も働けばいいんじゃないの？」と思う方もいると思います。
もちろん、働いていれば、年金だけの生活よりも余裕は生まれます。

しかし、定年後も同じ会社で働いた場合、定年前と同じように働いていても給料は下がってしまうんです。

厚生労働省の調査によると、定年前と比べた年収は

- **60～65歳で76%**
- **65～69歳で62%**

まで減少しています。

年齢区分ごとの平均年収

区分	年収			
	企業規模計 (10人以上)	1,000人以上	100～999人	10～99人
55～59歳	559.6 万円	680.9 万円	548.3 万円	448.5 万円
60～64歳	423.9 万円	468.3 万円	420.2 万円	393.4 万円
割合(55～59歳比)	0.76	0.69	0.77	0.88
65～69歳	344.2 万円	372.3 万円	338.2 万円	338.9 万円
割合(55～59歳比)	0.62	0.55	0.62	0.76

令和4年賃金構造基本統計調査（厚生労働省）より弊社作成

（参考：<https://teinen-encho.com/environment/comparison>）

（参照：
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2022/dl/06.pdf>）

70歳以降はさらに下がっていくことを考えると、たとえ働いていたとしても定年前と同じ水準で生活することはできなくなってしまいますよね。

だから、**40～50代**のうちにできるだけ収入を上げて老後に備えることが必要になってくるんです。

では、収入を上げるにはどうすればよいのでしょうか？

「今までと同じように働いていれば、自然と昇進して収入も上がる！」
そう考える方もいるでしょう。

でも、もっと早く、大きく収入を上げて、老後もゆとりある生活を送りたいですよね。
そこで僕がみなさんにやっていただきたいことが、「資格を取ること」です。

どうして僕が資格ををおすすめしているのか。

資格を取るメリットを解説していきます！

②資格を取るメリット

資格を取るメリットは、大きく分けて3つあります。

それは

- キャリアアップ
- 収入アップ
- 転職市場での競争力になる

です。

資格とは、簡単に言うと「専門性を証明するもの」です。

つまり、「自分は普通の人にはできないことができるレアな人材だ」ということを証明できるんです。

企業にとって、専門性の高い人材は貴重な存在です。

そのため、業務に関連する資格を持っていることで、昇進・昇格に有利になったり、より責任のある仕事に携わることができたりします。

また、資格を持っているだけで毎月資格手当が支給される制度もあります。

例えば、経理の仕事であれば、日商簿記や税理士などの資格、また、ITの仕事であれば、情報処理技術者試験やプログラミング系の資格を持っていると、キャリアアップや収入アップに繋がります。

そして、転職や就職活動でも資格は有利に働きます。

先ほども言ったように、資格は自分の専門性を証明するものです。

採用側の立場になって考えてみてください。

どんな能力があるか分からない人と資格によって能力が証明されている人だったら、あなたはどちらを採用しますか？

もちろん、資格を持っている人ですね。

もしそれが需要の大きい資格なら、より高い報酬を支払ってでも採用したくなるじゃないですか。

だから、資格を持っていることで転職市場での競争力が格段に向上するんです。

さらには、資格によっては副業や独立をして自由に働けるものもあります。

そうなれば、定年後も定年前と変わらない収入を得つつ、自分のペースで働くことができるようになります。

このように、資格を取ることで、より条件の良い企業への転職やキャリアアップがしやすくなり、収入が上がります。

副業や起業をすると、ライフスタイルに合った自由な働き方ができるようになります。

こんなに良いことづくめの資格なら、取らない手はありませんよね！

「じゃあ、どんな資格を取ればいいの？」

と思われた方、ご安心ください！

ここからは、未経験の**40～50代**でも取れて、かつ老後も稼ぐことができる資格を5つご紹介していきます！

③資格の紹介5選

企業の人事部「社会保険労務士」

社労士は、企業で働く従業員の給与計算や社会保険の手続き、年金の相談など、幅広い業務を担う、いわば「企業の頼れる人事部」のような存在です。

「法律の専門家」というと難しいイメージを抱くかもしれませんが、実は**40代50代**から目指す人が多い資格なんですよ。

そんな社労士の魅力は、何と言っても「需要が景気によって左右されない、安定した仕事であること」です。

企業にとって、従業員の社会保険や年金の手続きは、法律で定められた「必ずやらなければならないこと」。

そのため、どんな企業にも社労士の仕事は必要ですし、「景気が下がったから需要も落ちる」なんてことはありません。

また、近年では働き方改革による労働時間管理の徹底化や、就業規則の見直し、また、高齢化による定年延長や介護制度の利用者の増加傾向があります。

これらの制度への対応は全て社労士の仕事であるため、最近では社労士の需要はさらに高まっています。

このように、社労士は非常に安定した仕事であると言えるでしょう。

また、社労士は、企業に就職するだけでなく、自分で事務所を立ち上げて独立することもできます。

自分のペースで働きたい、専門性を活かして活躍したいという方には、独立開業という選択肢も魅力的ですよ。

もちろん、独立開業にはそれなりの準備や努力が必要ですが、やりがいには十分にあるでしょう。

さらに社労士の資格を取得することで、スキルアップ・キャリアアップにつながります。

法律や社会保障制度に関する専門知識が身につくと、仕事で活かせるスキルが大幅に向上しますし、人事や総務などのキャリアアップにも役立ちます。

このように社労士は、転職や昇進、独立開業を目指す方はもちろん、今の職場でさらに活躍したいという方にも、大きな武器になるでしょう。

不動産のプロフェッショナル「宅地建物取引士」

2つ目の資格は「宅地建物取引士」、通称「宅建士」です。

宅建士は、不動産取引のプロフェッショナルとして、物件の売買や賃貸の契約をサポートする仕事です。

「難しそうな資格」というイメージを持つ方もいるかもしれませんが、実は、宅建士は合格率**15%前後**。

例えば司法書士の合格率は**3～4%**、公認会計士は約**10%**であることをふまえると、宅建士は他の国家資格に比べて比較的取得しやすい資格だと言えます。

過去10年間の宅建士合格率

	合格率	合格者数	受験者数	合格基準点
令和5年度	17.2%	40,025	233,276	36点
令和4年度	17.0%	38,525	226,048	36点
令和3年度12月実施分	15.6%	3,892	24,965	34点
令和3年度10月実施分	17.9%	37,579	209,749	34点
令和2年度12月実施分	13.1%	4,610	35,261	36点
令和2年度10月実施分	17.6%	29,728	168,989	38点
令和元年度	17.0%	37,481	220,797	35点
平成30年度	15.6%	33,360	213,993	37点
平成29年度	15.6%	32,644	209,354	35点
平成28年度	15.4%	30,589	198,463	35点
平成27年度	15.4%	30,028	194,926	31点
平成26年度	17.5%	33,670	192,029	32点

(参照: <https://www.retio.or.jp/exam/pdf/zissigaikyo.pdf>)

それでは、宅建士の魅力を**3つのポイント**で詳しく見ていきましょう。

1つ目は、需要が高く安定した仕事であることです。

なぜ需要が高いと言えるのか？

それは、法律により、不動産会社は従業員の**5人に1人以上は宅建士の設置が義務付け**られているからです。

さらに、宅建士には「独占業務」と呼ばれる「宅建士にしかできない仕事」もあります。

- 契約締結前に行う重要事項の説明
- 重要事項説明書面への記名
- 契約内容を記した書面への記名

これらは資格を持たない社員やAIではできない仕事なので、宅建士の需要は今後も衰えることがなく、長期的に見て安定した仕事と言えます。

2つ目は、活躍の場が幅広いことです。

宅建士というと不動産会社のイメージがありますが、活躍の場はそれだけではありません。

- 住宅メーカー
- 金融機関
- 保険会社

など、さまざまな業界で活躍することができます。

また、会社員としてではなく、独立開業することも可能です。

活躍の幅が広く、独立開業すれば自分のペースで自由に働ける宅建士の資格は、あなたの経済的な安定にもつながる、将来性のある資格と言えるでしょう。

キャリアアップの最大の武器「中小企業診断士」

3つ目の資格は「中小企業診断士」です。

中小企業診断士は、経営コンサルタントのような存在で、財務、マーケティング、人事など、経営に関する幅広い知識を活かして、企業の成長をサポートします。

企業の「お医者さん」のような存在で、経営の悩みを解決に導くやりがいのある仕事です。

試験は1次試験と2次試験に分かれていて、最終合格率は5%前後。

合格率・合格者数の推移

年度	1次試験	2次試験	最終
2023年度	29.6%	18.6%	5.5%
2022年度	28.9%	18.7%	5.4%
2021年度	36.4%	18.3%	6.6%
2020年度	42.5%	18.4%	7.8%
2019年度	30.2%	18.3%	5.5%
2018年度	23.5%	19.4%	4.5%

(参考: <https://www.agaroot.jp/shindanshi/column/university>)

(参照: https://www.j-smeca.jp/attach/test/suii_moushikomisha.pdf)

そう聞くと「難しそうな資格だな・・・」と思われるかもしれません。

しかし、実は中小企業診断士は40代50代で取得する人も多いんです。

その理由は、40代50代の経験が活かせるから。

中小企業診断士の二次試験では、経営に関する応用力を問う筆記試験と口述試験が行われます。

ここでは、長い間企業で働いてきた皆さんが培ってきた経験が大きな強みになります。社会人経験が短い若者と比べると、皆さんの知識やスキルの量は桁違いです。そして合格後もその経験を活かすことができるので、まさに**40代・50代**にピッタリの資格なんです！

さらに近年は、中小企業診断士の需要がますます高まっています。

皆さん、日本の全ての企業のうち、中小企業の割合は何%だと思いますか？

正解は、**99.7%**

つまり、ほとんどが中小企業なんです。

これだけの数の企業の経営をサポートできるんですから、中小企業診断士はそもそもが需要高い資格です。

しかし近年はデジタル化やグローバル化によって経営方針が変化したり、為替変動や感染症の影響で経営状況が頻繁に変化する社会になっています。

不安定な状況だからこそ、経営改善計画を提案したり、経営方針のアドバイスをする中小企業診断士の需要は伸びているんです。

また、社労士や宅建士と同じように、コンサルタントとして独立開業することも可能です。中小企業診断士は、経営のスペシャリストとして活躍でき、独立開業の道も開け、**40代50代**の経験が活かせる、魅力的な資格です。

生活に欠かせない電気のプロ「電気工事士」

4つ目の資格は「電気工事士」です。

電気工事士は、私たちの生活に欠かせない電気に関わる工事を行うプロフェッショナルです。

住宅から商業施設、工場まで、あらゆる場所の照明器具の取り付けやコンセントの設置、配線工事などの幅広い業務を担っています。

電気工事士の資格には、「第一種」と「第二種」の2種類がありますが、今回おすすめしたいのは、主に一般住宅の電気工事を担当する「第二種電気工事士」です。

電気工事というと「体力的にきつそう」とか「難しそう」というイメージがあるかもしれませんが。しかし実は、**40代50代**からでも十分に目指せる資格なんです。

それでは、電気工事士の魅力を**3つのポイント**で詳しく見ていきましょう。

まず**1つ目**は、安定した需要と将来性です。

電気は私たちの生活に欠かせないものなので、電気工事士の仕事は常に一定の需要があります。

また、近年では太陽光発電システムやオール電化住宅の普及など、電気に関する新しい技術も次々と登場しています。

そのため、電気工事士の活躍の場は今後もますます広がっていくと予想されます。

2つ目は、未経験からでも挑戦できることです。

電気工事士になるために特別な学歴や職歴は必要ありません。

必要な知識や技術は、試験勉強や実務経験を通じて身につけることができます。

40代50代から新しいことにチャレンジしたいという方にもぴったりの資格です。

そして3つ目は、独立開業のチャンスがあることです。

電気工事士の資格を取得すると、経験を積んで独立開業することも可能です。

自分のペースで働きたい、自分の技術を活かしたいという方には、独立開業という選択肢も魅力的ですよ。

人生の先輩を支える「介護福祉士」

最後の5つ目の資格は「介護福祉士」です。

介護福祉士は、介護業界で唯一の国家資格です。

高齢者や障がいのある方々の日常生活をサポートする、人の役に立てるやりがいのある仕事です。

「介護」と聞くとオムツを変えたり、入浴の介助をしたりして「体力的に大変そう」というイメージがあるかもしれませんが。

そのイメージは半分正解で、半分間違っています。

介護の現場では、これらの介助の他にも、介護ニーズのある人々の生活に向き合い、お年寄りの生活の課題を分析して、環境の整備をすることも重要な仕事です。

そういった意味で、40代50代で培ってきた人生経験は、介護の仕事で活かせる大きな強みになります。

そして何よりも、需要が高く安定した仕事です。

日本は世界でも有数の高齢化社会を迎えており、介護のニーズはますます高まっています。

しかし「体力的にしんどそう」という理由から、介護士のなり手が少なく、常に需要の高い仕事になっています。

そのため、介護福祉士の仕事は将来性があり、安定した収入を得ることができるんです。

さらに未経験からでも始めやすいことも特徴の一つです。

介護福祉士になるには、国家試験に合格する必要がありますが、特別な学歴は必要ありません。

福祉系の高校や専門学校、大学を卒業していなくても、介護施設などで実務経験を積み、研修を受けることで受験資格を得ることができます。

また、資格取得を支援する制度も充実しています。
自治体だけでなく、介護施設や養成施設から、経済的支援や教育的な支援を受けられるので、未経験の方でも安心して挑戦できます。

このように、介護福祉士は需要がなくなるらない、かつ未経験者でも特に挑戦しやすい資格なので、**40代・50代**におすすめです！

さて、ここまで

- 社会保険労務士
- 宅地建物取引士
- 中小企業診断士
- 電気工事士
- 介護福祉士

の**5つ**の資格をご紹介してきましたが、実は私自身も**40代**で大きなキャリアチェンジを経験したんです。

そこで今回の動画の最後は、私の実体験からおすすめする老後への備え方をご紹介します！

④宮野さんは副業で得たスキルでうまくいっているので副業もおすすめ

私のキャリアチェンジのきっかけとなったのが、副業です。

- ・コロナで店がつぶれるか心配だったから資格を取りまくった
- ・資格じゃないけど、結局**SNS**運用代行を勉強して身についたスキルがどんな資格よりも一番よかったし財産になった

僕は長年カラオケバーを経営しているのですが、コロナが流行した時は
「倒産するんじゃないか・・・」
「これからの生活はどうしよう・・・」
という不安でいっぱいでした。

当時はお店の経営しかしていなかったんで、もしお店が潰れたら僕の収入はゼロになってしまう状況だったんです。

そこで僕は「一つの仕事しかしていないことはリスクでしかない」と気づいたんです。
もし**2つ以上**仕事をしていたら、そのうちの**1つ**の仕事がなくなっても収入はなくならないですよ。

だから僕は、「何か資格を取って他の仕事をしよう！」と考えたんです。

そこからは宅建士をはじめ、本当にいろいろな資格を取り、たくさんの知識とスキルを身につけてきました。

そんな僕の経験の中で、一番の財産になったものは何だと思いますか？

それは、**SNS運用代行**のスキルです。

ここまでさまざまな資格とそのメリットを話してきましたが、結局は**SNS運用代行**のスキルがどんな資格よりも良かったし、財産になったと思っています。

最初はちょっとしたお小遣い稼ぎのつもりでしたが、**SNS運用代行**の副業を通じて得たスキルや経験は、本業にも活かせることがたくさんありました。

例えば、投稿作成のスキルは、社内資料の作成やプレゼンテーションの資料作りに役立ちましたし、クライアントとのコミュニケーションを通じて得た交渉術は、営業の場面でも活かすことができました。

このように、副業で得たスキルや経験は、私自身の成長を加速させ、最終的には独立起業という道へとつながりました。

もちろん、副業は決して楽なものではありません。

本業との両立には、時間管理や効率化の工夫が必要です。

しかし、副業を通じて得られるものは、収入アップだけではありません。

新しいスキルを身につけたり、人脈を広げたり、自分の可能性を広げるチャンスにもなります。

締め

いかがだったでしょうか。

今回は「【人生逆転】**40代50代**からでも絶対に取りべきオススメ資格**5選**！」というテーマで解説してきました。

老後にゆとりある生活をするためにオススメの資格は

- 社会保険労務士
- 宅地建物取引士
- 中小企業診断士
- 電気工事士
- 介護福祉士

40代からたくさんの資格を取ってきた僕のオススメは、副業で得たスキルで独立企業をすることです。

40代50代から新しいことに挑戦するのは、決して簡単なことではありません。

しかし、資格取得でも副業でも、勉強には多くの時間と費用を費やしますし、さらにそこから生活に十分な収入を得るまでにはたくさんの苦勞が待ち受けています。
コツコツ地道に努力していくことが、必ず必要になってきます。

僕は、この「コツコツ努力すること」が我々昭和世代の最も得意なことだと考えています。
我々は、小さい頃からさまざまな困難を努力と根性で乗り越えてきましたよね。
今こそ、気合いを見せてやりましょうよ！
自分の可能性を広げ、人生を大きく変えるチャンスは誰にでもあります。
弱気になる必要なんてありません！
ぜひ、この動画を参考に、あなたにとって最適な方法を見つけて、理想の生活への一歩を踏み出してください！

メルマガ訴求

僕は「副業で理想の生活を実現したい！」本気でそう考えている方に向けてサポートを行っていますのでよろしくおねがいします！

副業で不安な方がいたらぜひお気軽にご相談ください！

また、この動画が参考になったよという方は画面の下にあるいいねとチャンネル登録ボタンを押していただければ非常に嬉しいです

今後もあなたの役に立つような発信をしていきますので

ぜひ応援よろしくお願いします！ありがとうございました！

昭和世代よ

狼煙を上げろ

ショート台本

タイトル 【人生逆転】40代50代からでも絶対に取りべきオススメ資格5選！

「老後に年金だけで生活していけるか不安・・・」
そう考えている人に朗報！

40代・50代からでも取れて、定年後にも安定して稼いでいけるオススメ資格を5つご紹介します！

①社会保険労務士

企業で働く従業員の給与計算や社会保険の手続き、年金の相談など、幅広い業務を担う法律の専門家！

②宅地建物取引士

物件の売買や賃貸の契約をサポートする宅建士は、活躍できる業種が幅広い！

③中小企業診断士

中小企業の経営の悩みを解決に導く経営コンサルタント！

④電気工事士

私たちの生活に欠かせない電気に関わる工事を行うプロフェッショナル！

⑤介護福祉士

高齢者や障がいのある方々の日常生活をサポートする、介護業界唯一の国家資格！

そして、僕が最もオススメする、老後にも安定収入を得るための方法とは・・・？
本編で詳しく解説しています！

今すぐにでも行動して、老後に理想の生活を送りたい人は必ずチェックしてください！